

支援プログラム

事業所 おもちゃ箱こねい

作成日 2024年8月1日

事業所理念		子供たちの生活能力向上の為に必要な訓練を行う。社会との交流を図ることができるように子供達の身心の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導・訓練を行う。	
支援方針		『健康・生活』『運動・感覚』『認知・行動』『言語・コミュニケーション』『人間性・社会性』の5領域をすべて網羅した総合的な本人支援を提供する。また、「家族支援」や「移行支援」、「地域支援・地域連携」により、家庭や地域社会における生活環境を充実を図る。この支援プログラムをベースに個々の特性に合わせて個別支援計画を策定し、質の高い療育を目指す。	
営業時間		9:00 ~ 18:00	送迎実施の有無 有 個別支援計画に基づき送迎を行う (小金井市以外の学校は要相談)
支援内容			
本人支援	健康・生活	支援の狙い ①基本的な生活スキルの習得 ②生活習慣の形成 ③健康状態の維持 【健康意識の保持】 健康についての意識付けを行い、健康な心と体を育て、健康で安全な生活スタイルを支援します。検温、排泄、食事などにおいて体調観察を行い、児童と共に体調不良を確認します。 【健康の増進】 集団活動ではラジオ体操、かけっこ・ボール遊びなどの基礎運動を取り入れ、体力の維持と運動能力の向上を図ります。体を動かす室外活動、ひとり登降所などを通して健康生活の基本となる体づくりを行います。 【基本生活スキルの習得】 衣類の着脱、食事、排泄などの基本的な生活スキルが向上し、身支度や片付けの習慣を身に付ける時間を設けます。身の回りを清潔にし衛生的な生活を送る為、必要な基本的技能を培います。 【構造化により生活環境の整備】 個々の特性に配慮し、時間や場所を分かりやすく理解できるように構造化を取り入れた支援を行います。「今、何をすべきか」、「次の予定は何か」など見通しを持って取り組めるように支援します。	
	運動・感覚	支援の狙い ①姿勢と動作の向上 ②身体の移動能力の向上 ③保有する感覚の活用 ④感覚の特性への対応 【保有する感覚の活用】 保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用できるように器具を使った遊びなどを通して支援を行う。縄跳びを使ったタイミングやバランス感覚、ボールを使った体の動かし方や力の強弱感覚、方向感覚の習得など様々な状況にも対応できる感覚能力の向上を目指す。 【姿勢と運動・動作の基本的技能の向上】 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用してこれらができるよう支援する。 【身体の移動能力の向上】 自力での身体移動や歩行、歩行器や車椅子による移動など、日常生活に必要な移動能力および交通機関を利用した移動など、社会的な場面における移動能力の向上を図る。 【感覚の補助及び代行手段の活用】 障害の状態、発達段階、興味関心などを考慮して眼鏡や補聴器等の各種補助機器や ICT を活用することで感覚代行ができる環境を整える。 【感覚の特性への対応】 感覚の過敏や鈍麻などの感覚特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整の支援を行う。	
	認知・行動	支援の狙い ①認知特性に対する対応 ②感覚活用と認知機能の発達 ③知覚から行動への認知過程の発達 ④行動障害への予防及び対応 【認知特性を踏まえた対応】 個々の認知特性を踏まえ、情報を適切に処理できるよう支援する。こだわりや偏食等に対する支援を行う。 【対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得】 感覚の活用や認知機能の発達に向け、視覚、聴覚、触覚等の感覚から情報が適切に取得され、認知機能の発達を促す支援を行う。知覚から行動への認知過程の発達に向け、取得した情報を過去に取得した情報と照合し、環境や状況を把握・理解でき、的確な判断と行動に繋げることを支援する。認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に向け、物の機能や属性、形、色、音が変化の様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図り、認知や行動の手掛かりとして活用できるように支援する。 【行動障害への予防及び対応】 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切な行動への対応の支援を行う。	
	言語・コミュニケーション	支援の狙い ①言語の形成と活用 ②言語の受容と表出 ③コミュニケーションの基礎的能力の向上 ④コミュニケーション手段の選択と活用 【言語の形成と活用】 子供同士が意見を言ったり、相手の話を聞いたりする場を設けます。自分の考えを伝えたり、人の意見を聞き入れて相手の気持ちを理解するなど、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得を図ります。コミュニケーションを通して、事物や現象、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図り、体系的な言語が身に付くことを目指します。 【言語の受容と表出】 話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することができるよう支援します。 【読み書き能力の向上のための支援】 絵文字カードやカルタなどの知育教材を用いて、個々の能力に合った読み書き能力の向上を目指します。 【コミュニケーションの基礎的能力の向上】 個々の児童の障害状況、興味関心に応じて、言葉に限らず、表情や身振り、各種コミュニケーションツール等を用いて意思の疎通を図り、コミュニケーションに必要な基礎的な能力が身に付くように支援します。 【コミュニケーション手段の選択と活用】 指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。手話、点字、音声、文字、触覚、平易な表現等による多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。パソコン・タブレット等の ICT 機器をはじめ、様々なコミュニケーション手段を適切に活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援します。	
	人間関係・社会性	支援の狙い ①他者との関わり(人間関係)の形成 ②自己の理解と行動の調整 ③仲間づくりと集団への参加 【アタッチメントの形成と安定】 アタッチメント(愛着)の形成に向け、「環境に対する安心感」、「人に対する信頼感」、「自分に対する肯定感」を育む支援を行います。不安になった際には、職員と相談することで気持ちの昂りが静まり、気持ちがコントロールできる「安心の基地」の場を児童と一緒に作ります。 【他者との関わり形成】 相手の気持ちを理解し、相手の言動を受け止め、場に応じた適切な行動ができるように支援します。 【遊びを通じた社会性の促進】 感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。また、周囲に子どもがいても無関心であるひとり遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。 【自己の理解と行動の調整】 自分のできることや苦手なこと、自分の行動の特徴などを自覚し、情動を調整して状況に応じた行動ができるように支援します。 【仲間づくりと集団への参加】 集団に参加するための手順やルールを理解し、集団活動に参加できるように支援します。仲間と共に活動することを通じて、一緒に活動する喜びを見つけ、相手を認め、助け合い、仲間が増えるように支援します。	
家族支援	発達状況や特性の理解に向けた情報の提供を行うとともに家庭生活での困り事の相談援助を行う。	移動支援	今後の進路に向けて本人の意志と家族の意向を勘案できるように相談援助と状況に応じた準備の支援を行う。
地域支援・地域連携	相談支援センター、学校、医療機関と状況および課題を共通認識し情報連携による地域支援を行う。	職員の質の向上	年2回以上開催の社内基礎研修、毎月開催のケース検討会議 虐待防止、強度行動障害、メンタルヘルス等の外部研修の受講
主な行事等	【季節の変化を感じる行事】 正月飾り、凧揚げ・コマ回し、お花見(梅、桜、チューリップ、紫陽花、楓、銀杏並木など)、水遊び、夏祭り、落ち葉拾い 【伝統的な文化に触れる行事】 節分、ひな祭りこどもの日、母の日、父の日、七夕、敬老の日、ハロウィン、クリスマス 【定期的な行事】 誕生日会、避難訓練、防災体験(地震、消火、煙)、絵画展の出展作品創作、カレンダー作り		